

戦国・織豊期 大坂の都市史的研究

大澤研一 著

A5判上製・582頁／定価：本体 13,300円（税別） ISBN978-4-7842-1963-6 【2019年3月刊行】

16世紀から17世紀初頭にかけて大坂は都市としてどのような構造と特質を有し、どのような変遷を遂げたのか。文献をはじめこれまで未活用だった絵図や出土遺物の墨書など、多彩な史料を駆使して都市大坂の変容過程を具体的に実証し、都市史における意義を明らかにする。

第一部 中世大坂の歴史環境と都市

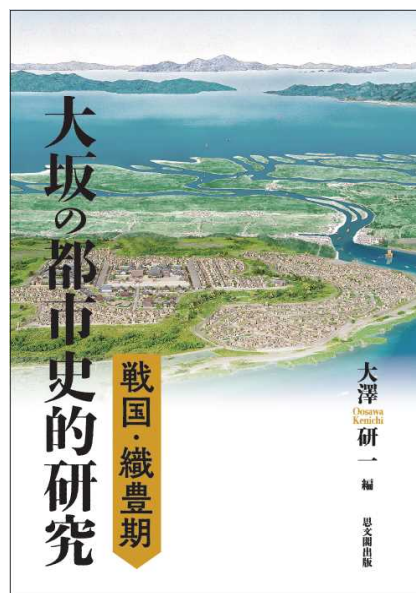
- 第一章 中世大坂の道
- 第二章 『日本一鑑』所収「滄海津鏡」の基礎的検討——十六世紀大阪湾周辺の地形と港湾都市
- 第三章 渡辺の都市構造について
- 第四章 中世上町台地の宗教的様相——四天王寺を中心に
- 第五章 摂津国平野の成立と変容

第二部 寺内町の成立と展開

- 第一章 真宗寺内町の構造と展開——山科寺内町を軸に
- 第二章 蓮如の大坂進出の前提——浄照坊の動向を中心に
- 第三章 大坂寺内の空間構造——古地形と町の観点から
- 第四章 摂河泉における戦国期本願寺の地域編成
- 第五章 中近世移行期における在地寺内町の動向——摂河泉を中心に

第三部 豊臣大坂城下町の成立と展開

- 第一章 豊臣大坂城下町の建設——初期を中心に
- 第二章 文献史料からみた豊臣大坂城の空間構造
- 第三章 文献史料からみた豊臣前期大坂城の武家屋敷・武家地
- 第四章 豊臣期大坂城下町の寺町考——城南寺町を中心に
- 第五章 大坂の陣後の町の復興と玉造地区の武家地転換——高津屋史料の紹介をかねて
- 補論1 「丁目」史料からみた豊臣大坂城下町の空間構造
- 補論2 「石山」呼称の再検討——豊臣大坂城評価の観点から



おおさわ・けんいち…1962年岩手県生。大阪市立大学文学研究科前期博士課程史学専攻中退、博士(文学)。大阪歴史博物館学芸課長。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注 文 票		発 行 : 思 文 閣 出 版		(京 都 取 引 コ ー ド 3402)	
冊 数	冊	戦国・織豊期大坂の都市史的研究 本体13,300円(税別) ISBN978-4-7842-1963-6			
お 名 前			tel		
			e-mail		
ご 住 所	〒				
送本方法	代引 (書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

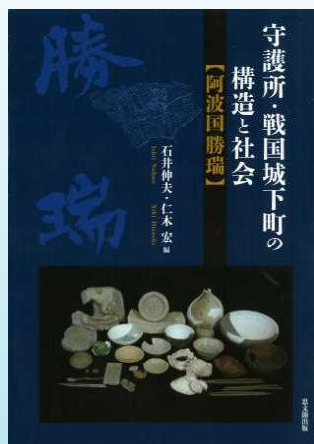
守護所・戦国城下町の構造と社会

石井伸夫・仁木宏編

戦国時代、100年以上にわたり阿波国の中心地であった守護町「勝瑞」。阿波細川氏の拠点であり、その被官三好氏はこの地を基盤に京都で政界の覇権を争った将軍候補や幕府管領も滞在し、ここから捲土重来をはかった。

阿波国は、中世後期から近世にかけて、権力主体が変遷したにもかかわらず一國単位で歴史が変遷する。その中心は勝瑞から徳島へ引き継がれ、これを「阿波モデル」として全国の城下町研究に提示する。

ユニークな空間構造をもつ16世紀の地方都市・勝瑞の姿を、考古学、歴史学、地理学など多様な視点から解き明かし、中世都市史研究を大きく前進させる一書。



▶A5判・368頁／本体 6,600円(税別)

ISBN978-4-7842-1884-4

京都中世都市史研究

高橋康夫著

思文閣史学叢書

中世京都の都市空間形成過程における種々の問題を、辻子の発生と展開、平安京北辺・後小松院仙洞御所跡敷地・土御門四丁町等の再開発、あるいは六町の成立と構造などの検討を通してさぐり、今日の歴史的都市の保全修景計画をも射程に入れて中世都市像を追究した、気鋭の建築史家ならではの一書。

▶A5判・540頁／本体 8,800円(税別)

ISBN4-7842-0318-4

織豊期主要人物居所集成 [第2版]

藤井譲治編

多くの研究者が複数の人物を取り上げ、居所情報を複眼的に確定した成果。政権の中心人物、政権中枢の人物、有力大名、有力武将、僧侶・文化人、公家、政権に関わる女性たち、総勢25名を収録。辞書的な利用はもちろん、通覧すれば秀吉の天下統一の道程や戦国武将の動静、同時代人たちの交流を詳細に追える。

▶B5判・480頁／本体 6,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1833-2

近世日本の銅と大坂銅商人

今井典子著

近世日本は世界でも有数の銅輸出国であり、銅関連市場が活況を呈した。その最大市場である大坂の銅商人社会が成立・変容する過程を軸にして、銅の生産・流通の歴史を通覧。住友家文書や初村家文書など関連史料を丁寧に読み解き、長崎貿易の動向・幕府の統制・相場の変動なども視野に入れながら論じた本邦初の銅の近世通史。

▶A5判・316頁／本体 7,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1805-9

近世の禁裏と都市空間

岸泰子著

禁裏が関係する信仰や儀礼の場・空間の特性に注目し、都市を基盤として存在した禁裏、禁裏によって形成・維持された都市、という両側面からなる近世京都の特性を中世・近代への展開も視野に入れて明らかにする。近世京都の都市空間の特徴を多角的な視点から包括的に論じた一書。

▶A5判・320頁／本体 6,400円(税別)

ISBN978-4-7842-1740-3

※京都 高瀬川 角倉了以・素庵の遺産

石田孝喜著

江戸時代初期、角倉了以・素庵父子によって開削され、京都の中心部と伏見港を結んだ運河・高瀬川に限りない愛着と関心を持って30年余り、歴史に埋もれた史料をねばり強く探索し、高瀬川の流れとともに研究を続けてきた著者が、運河開削の歴史をたどり、舟入や橋の変遷など、多方面から歴史と文化のすがたを描く。図版多数。

▶A5判・250頁／本体 2,200円(税別)

ISBN4-7842-1253-1

大坂蔵屋敷の建築史的研究

植松清志編著

江戸時代、大名・旗本などの諸領主が、貢租米や領内の特産品を販売・貯蔵するために設置した蔵屋敷について、建築史的な観点から蔵屋敷の変遷、建築構成・空間構成、居住性などを研究する。史料篇として現存する蔵屋敷絵図のトレース図面を網羅的に掲載する。

▶B5判・236頁／本体 4,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1724-3

※大坂城と城下町

渡辺武館長退職記念論集刊行会編

元大阪城天守閣館長渡辺武氏の退職を記念した22名による論文集。豊臣大坂城時代はもちろん、難波宮、大坂(石山)本願寺から現代にいたるまで、多彩な視角から大坂城と都市大阪を考察する。

▶A5判・436頁／本体 8,800円(税別)

ISBN4-7842-1062-8

中世畿内における都市の発達

永島福太郎著

[オンデマンド版]

中世史の本舞台である畿内における中世都市の発達の姿を明らかにした永島史学の本領が発揮された一書。旧制学位請求論文で、史観欠如の評を恐れて公刊を見合わせたが、若干の補正を加え、ここに上梓する。(初版2004年)

▶A5判・338頁／本体 6,800円(税別)

ISBN978-4-7842-7028-6

中世都市「府中」の展開

小川信著

思文閣史学叢書

様々な分野から研究が進んでいる古代国府と戦国以降の城下町にくらべ、両者の中間の時代にある中世府中は、意外と見逃されていた一種のミッシングリンク(見失われた環)であった。詳細な個別研究を集大成し、豊富な図版とともに、中世都市としての諸国府中の全体像を明らかにする。

▶A5判・576頁／本体 11,000円(税別)

ISBN4-7842-1058-X

豊臣政権の東国政策と徳川氏

片山正彦著

佛教学研究叢書

新出史料の分析を中心に、豊臣・徳川の政治的関係を見直しつつ、豊臣政権の東国政策の一端を明らかにする試み。第五回「徳川奨励賞」を授与された研究をもとに、これまで「惣無事」論や「取次」論を語る際に前提とされてきた通説をくつがえすことを試みた意欲作。

▶A5判・258頁／本体 6,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1875-2

住友の歴史 [全2巻]

朝尾直弘監修／住友史料館編

近世初頭から銅の精錬を業とし、その後金融・貿易などをも手がけ、近代の財閥につながる豪商の典型である住友の歴史をわかりやすく紹介。下巻では財閥解体までの近代史を中心に、大阪での文化貢献等にも言及。連綿と受け継がれる住友精神の源泉がここにある。

上巻▶A6判・286頁／本体 1,700円(税別)

ISBN978-4-7842-1703-8

下巻▶A6判・322頁／本体 1,700円(税別)

ISBN978-4-7842-1762-5

近世の公家社会と京都

登谷伸宏著

集住のかたちと都市社会

公家町の形成・変容過程の解明を通じて、公家町を中心とした京都の都市空間の特質を明らかにするものである。あわせて、都市における公家の集住・居住形態、および町方社会との関係を検討し、近世京都がいかなる都市社会構造を形成していたのかを論じる。

▶A5判・392頁／本体 8,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1795-3

近世都市和歌山の研究

三尾功著

御三家紀州徳川家の城下町として発展した近世都市和歌山の城下の変遷を、長年和歌山市史編纂に携わってきた著者が豊富な史料に基づき考証する。【内容】創建和歌山城について／和歌山城の構造／和歌山城再建工事について／和歌山城追廻門・赤門考／城下町和歌山の成立と拡大／町割にみる都市計画／武家町と町人町について ほか

▶A5判・376頁／本体 7,000円(税別)

ISBN4-7842-0825-9